

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	幼児と造形表現						授業形態		演習	
科目コード	750192	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	吉田 健								ICT活 用	○
授業概要	児童期の造形表現の特質を理解し、豊かな表現を援助するために、指導者に必要とされる基本的な知識や技能を具体的な作品制作を通して学ぶ。パス類、絵具、版画材、粘土などの表現素材を使い、それらの特性を生かした造形表現の楽しさを学ぶ。その体験から子どもに対する援助力を高める。講師の長年の子どもへの指導経験を伝えることで真に教育現場で生かせる技法の習熟を図る。現場で自身の様々な対応能力が発揮できるようスキルを身に着けるために自主性ある演習として捉えたい。									
関連する科目	保育内容指導法（造形表現） 教科教育法（図画工作） 子どもと手作り遊び									
授業の進め方 と方法	この科目は制作演習を中心として行われる。教育現場で実際に役立つ、道具・用具、絵具や紙などについてのノウハウを取得する。実習の中で感性や感覚を体験する教材を扱う。制作の流れの基本として、テーマ決定、アイデアスケッチ、着色などの一連の流れを体験し、制作の流れを身に着けたい。平面、立体、デザインなど幅広い領域を取り扱う。カメラでの写真撮影、ビデオ撮影の動画撮影等を行い、記録として残すことと実技の習得に利用する。 YouTubeなどを用い、実技の習得に活用する。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション、授業者紹介、学生各自紹介、演習授業について ・ 保育の中の造形表現とは何か。造形表現に関する概要を解説する。									
授業計画 【第2回】	幼児の造形表現の理解 発達と児童画の特徴・様式を知る。 ・ 幼児の姿をビデオ等の視聴により知る。									
授業計画 【第3回】	描画材料と素材について演習① ・ 絵を描く環境、道具について（鉛筆、水彩道具材料、絵具等について）									
授業計画 【第4回】	描画材料と素材について演習② ・ はさみ、カッター、ノリ、粘土、ダンボールなど 扱い方などを体験的に学ぶ。									
授業計画 【第5回】	幼児造形表現の目標と内容。 ・ 幼稚園教育要領解説を読み込む。 目標と内容の理解を語る。									
授業計画 【第6回】	年間計画と造形的環境について ・ 年間計画の作成、環境整備を行う。									
授業計画 【第7回】	指導案の作成演習① ・ 題材設定と展開について構想を練る。指導案の形式に反映する。									
授業計画 【第8回】	指導案作成と模擬授業 ・ 制作した指導案を基に模擬授業を実施する。									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	・ 幼児期、児童期の造形表現の理解と、指導上の観察力と援助力を身に着ける。 ・ 演習を通して発想力、創作力を高め、授業現場で子どもの理解と指導力の向上を図る。 ・ 指導案を基に授業内容を具体化できるようになる
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	これまで経験した造形表現の内容を想起する。 幼稚園・保育園時代に体験した造形的表現を簡潔にまとめる。 道具、材料を確保する。身近な物をスケッチする。(約1時間)
授業時間外学習【復習】	学修した技法などを使い、実際に制作する。試行錯誤を行う。 スケッチをする。(約1時間)
課題に対する フィードバック	発想からの取り組みの流れを重視する。グループ制作では個人の参加の在り方を実践評価とし個人評価に組み込む。 作製したレポート類はコメントや添削後返却する。
評価方法・基準	実技課題への取り組み、課題提出の評価、レポートや提出物の採点によって評価 授業中の参加態度40%、提出課題30%、実践レポート30%とする。
テキスト	・ 『幼稚園教育要領』：文部科学省・『保育所保育指針』：厚生労働省。 必要に応じて参考となる資料を提示する。
参考書	参考資料は抜粋要約してプリントを配布する。 ・ 『幼稚園教育要領』：文部科学省 『保育所保育指針』：厚生労働省 ・ 小学校学習指導要領解説 図画工作編：文部科学省
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。(準備内容については、事前に予告する。)